

＼5月は水防月間／

非常時に備えましょう

梅雨や台風の季節を前に、水害対策を平時から準備しておきましょう。浸水予測などを示したハザードマップで自宅周辺の危険な場所や、避難場所・避難経路を確認してください。また、非常用の持ち出し品や備蓄品を準備し、さまざまな災害に備えておきましょう。☎危機管理室(☎6384・1753☎6337・1631)。

準備OK? 今すぐチェック☑

非常持ち出し品・非常備蓄品

非常持ち出し品

すぐに取り出せる場所に用意しておくもの。

- 飲料水、携帯食料
- 懐中電灯(電池も含む)
- 携帯充電器
- 軍手、ホイッスル、ヘルメット
- 携帯トイレ、ポリ袋、カイロ



準備のポイント

- ・各家庭に必要なものは異なります。必要なものの再チェックを。
⇒例：乳幼児はミルク、おむつなど。
- ・最低3日分の準備を。可能であれば7日分を備蓄しましょう。
- ・1年に2回は中身をチェック。保存期限を確認しましょう。

ローリングストックで万一来に備えましょう

日頃から日用品を多めに備え、消費した分を買い足すだけで災害時に自宅で生活できるようにするための備蓄になります。ふだん食べている食品なら好き嫌いやアレルギーなどの心配もありません。各家庭にあった備蓄の方法を考えましょう。



⚠️ もし、いま地震が起こったら

地震が発生すると避難所には不特定多数の人が避難してきます。避難所では新型コロナウイルス感染症などの集団感染のリスクが高まるため、十分な換気を行い、複数の部屋で避難者を分けるなどの対応は行いますが、過密状態を避けるため、親せきや友人の家などにも避難が可能かどうか今から検討をしておいてください。

事前にさまざまな想定をし、リスク回避を考えましょう。

非常備蓄品

ライフラインが止まった場合などに必要なもの。

- 3～7日分の非常食・飲料水
- 簡易トイレ
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 水タンク、使い捨ての皿・コップ
- 毛布、タオル、ウェットティッシュ

